

(参考資料1)

## 点検結果(事例)

## ○連続性

空港ターミナル内と外で、駅までの案内誘導サインの色が「青」から「白」に変化する。



---

## ○ユニバーサルデザイン

英語表記による誘導が不十分



# ○視認性

設置主体の異なる複数のサインによって情報が重複している。

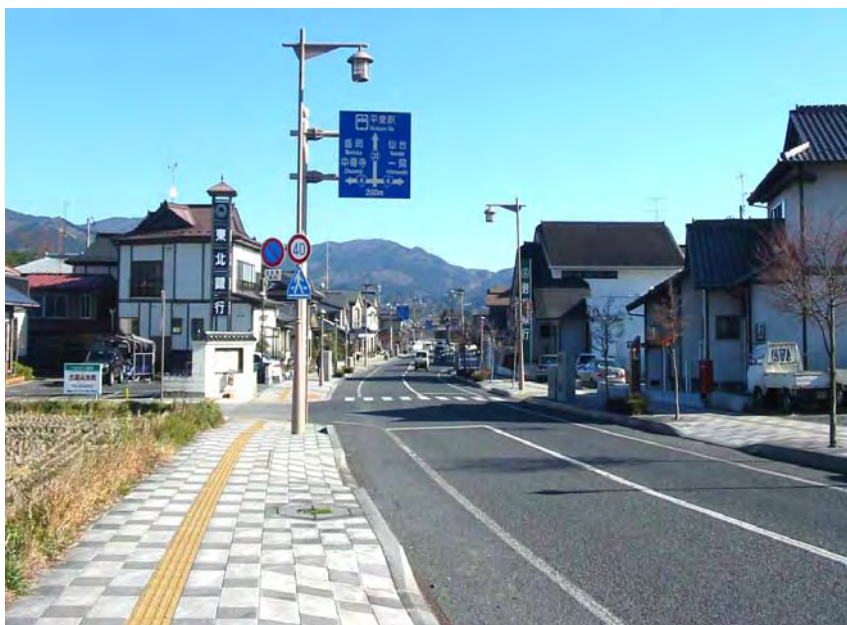


同一箇所に異なる主体が設置した案内標識などが混在し、景観を乱しているとともに分かりにくい。



## ○配置計画

歩行による観光客を対象とした案内標識が少ない



---

## ○設置

案内標識が電話ボックス、街路樹等の陰になり見にくい





## ○設置

案内板の厚さが薄く、道路と平行に設置されているため視認性がよくない。



---

## ○管理

老朽化によって板面が折れ曲がっており補修・交換などの維持管理がなされていない。



## ○日本語の表記方法

同じ施設でも設置主体によって正式名称であったり、略称で表記したりして統一されていない。



---

## ○英語の表記方法

施設種を英語で表記しているものと、ローマ字(日本語の読み)のまま表記しているものがあり、統一されていない。

英語のスペルに誤りがある。



# ○ピクトグラムの表記方法

地域独自のマークが使用されており、対象物がイメージしにくい。



---

# ○図解標識の表記方法

北が上向きであったり、鉄道に平行であったりと標識により表示方向が異なる





# ○図解標識の表記方法

施設の周辺案内図の現在地表示が見にくい。



歩行者を対象とした標識にしては表示範囲が広すぎる





# ○図解標識の表記方法

地図がデフォルメされており、距離感覚がつかみにくい。



ポイントとなる情報が強調されていない。(駅の表示が弱くめだたない)



# ○スケール

文字が小さく、読み取りづらい。



---

# ○色彩

表示する色合いがはっきりしないため、見にくい。



# ○色彩

金属板を彫った案内板において、表示面が読み取りにくい



---

# ○情報掲載基準

マップ上に情報を詰め込みすぎており繁雑。

